

(申1号)第35回定期地本大会発言に基づく要求申し入れ

(申2号)ワンマン列車拡大による車掌要員減に関する申し入れ

業務委員会で協議を行う

名古屋地本は9月16日、東海鉄事と「第35回定期地本大会発言に基づく改善要求について」（申1号）及びワンマン列車拡大による車掌要員減に関する申し入れ（申2号）についての業務委員会を開催し協議を行ってきました。

社員の切実な要求拒否！！

申1号では職場における切実な改善要求と、これまでも解決しきれていない諸問題の解決に向け11項目併せて49の要求申し入れに対し、社員の切実な要求でもある私たちの申し入れに対し、何ら誠意ある回答は有りませんでした。

地本は、昨今のSNS等における一般人からの社員への過度な介入や誹謗中傷を受けた場合には会社が責任を持って対応することや、沿線環境では樹木の伐採が迅速に行われないのは人手不足が原因であり放置すれば安全上大いに問題があるとして早急に改善するよう主張してきました。

申2号では3両編成以上のワンマン列車のAIカメラが故障した場合、「運転士が車掌と同様にホーム上においてホーム上の安全確認を実施させる」など明らかに運転士への負担が増大し安全上問題があることを主張しました。また、80名の車掌要員減によって該当運輸区のみならず、他区所、他職種にも大きな影響が出、社員の不安が増大することは必至であり計画を見直すよう主張してきました。

*詳しくは、「業務ニュース名古屋」を参照

名古屋地本は要求実現のために、
今後も最大限取り組みを進めていきます。